

ねらい	- 生活のリズムを整えて、健康にゆっくと過ごせるようにする。 - 安全で活動しやすい環境の中で、自由に身体を動かしたり好きな遊びをしたりして楽しむ。	行事	- おじいちゃん、おばあちゃんと遊ぶ会 - 身体測定 - 避難訓練 - 誕生会	家庭連絡	- 夏休みがあったりと生活リズムが崩れ、疲れが出やすい時期なので健康状態についてこまめに伝え合う。 - 汗をかいたりするので着替えを多めに持ってきてもらう。	自己評価	- 夏休み明けの子も保育園のリズムを取り入れ、朝の会のようにはもう取り入れて。朝はゆとりとスタートできている。 - 新しいダンスをしたことで始めは園歌よりテンパ、覚えたと感じたり曲がわかると身体が自然と動いている様子がみられた。
	今月の内容（養護・教育等）		環境構成		配慮事項		取り組みの状況と保育士の振り返り
	- 室温調節をこまめに行い、水分や休息を十分に取り、快適に過ごせるようにする。 - 体調の変化を気にかけて、特に急な発熱などには気を付ける。 - ゆったりとした雰囲気の中で保育士といっしょに好きな遊びを見つけて過ごす。 - 自分の好きな遊びを好きなように思ったように遊んでみる。 - 歌や遊びを楽しむなかで様々な言葉に触れる。 - 曲に合わせて身体を揺らしたり、保育士を真似て動いたりして楽しむ。 - 嗜みつき、転倒には十分に注意をして見ていく。 - 食事を楽しみにして、食事中はみんなで楽しい雰囲気ですごす。 - 手づかみから自らスプーンで食べようとするように保育士が手を取り援助していく。	- 夏休み明けの子もいるので保育園のリズムに少しずつもどしていくように促す。 - 保育室内外の気温・湿度・衛生などに配慮しエアコンや換気などを利用する。 - 室内や特に口に入れやすい玩具の衛生などには配慮し、感染症を広めないようにする。 - 特に朝の健康状態を丁寧に行い一人ひとりの体調を十分に把握する。 - 子どもが自分で選んだ遊びの中へ保育士が関わっていき遊びが膨らむようにする。 - 一緒に遊びを楽しみ、保育士とのやり取りや見守りを受けながら安心して遊べるようにする。 - 不安そうな子どもはしっかりと受け止め、興味がありそのような遊びを楽しみながら促していく。 - 楽しい雰囲気の中、口にしたことのない食材や調理法でも保育士に促されたり認められったりしながら挑戦してみる。	- 一人ひとりの体調を把握し変化には適切に対応していく。 - よく口にする玩具は毎日洗浄する。 - 朝の健康状態によっては時間ごとに検温をしていく。 - 嗜みつきに関しては、子ども同士の距離感を十分に注意していく。 - 皆で同じものを食べる楽しみを共有しながら楽しい雰囲気をつくる。 - 詰め込みや喉に詰まらせることのないように気をつける。 - スプーンは、無理強いさせないが手づかみになってしまう子へは保育士が手を取りスプーンを使っていく。 - アレルギー対応について保育士間で連携を徹底させる。誰が補助に入っても同じ対応ができるようにする。	- 気温が涼しい日には、室温をドライのみにしたりとその日の気温に合わせて調節した。 - ノートにて、体温が元々高めであり、病弱明けである子は、検温を1日の中で何度も行なった。 - 保育園のリズムに合わせ、朝はぐずり外に出る、朝の検温をしてはダンスをしてはゆとりと外道が入っている。 - 少しづつ好きな遊びが見つけられつつあり、思い思いに遊べるようになってきた。 - 運動会の歌やダンスを多く取り入れたことにより、「ママさんコーラス」は口ずかめて子どもたちが身体を動かしている姿が良かった。 - 保育士も楽しんで踊ること、子どもたちも1人1人で踊る、できるようにした。 - 口づかしについては、十分注意していたがまだ「よく」とはできていない、引き続き注意していく。 - 食事のときは「大好きな食べ物」「食事はおいしい！」と元気な言葉を聞けるようになった。 - 全体的にスプーンで食べられるようにはなってきたが、まだまだ保育士の手を手取り			